

# 泉北ニュータウン再生に向けた 安全・安心な道路空間の確保への取り組み

## 泉北ニュータウンの道路舗装の現状

地区幹線道路



※主にバス等が通行する路線や歩道がある路線等  
概ね6m以上の道路

生活道路



※主に道路幅員が6m未満の住宅地内の道路

まち開きから概ね50年が経過し、老朽化が一斉に進行

緊急性の高い箇所のみでの部分的対策では、進行する老朽化に対応できない

### 泉北ニュータウンの安全・安心な道路空間の確保に向けて

- ◎路面調査データや現地調査をもとに、予防的保全を取入れ計画的に舗装更新を実施（主に地区幹線道路）
- ◎現地の状況を踏まえ、ライフライン施設の更新事業等と連携し計画的に舗装更新を実施（主に生活道路）

### 効果

- 一斉に老朽化を迎える泉北ニュータウンの安全・安心な道路空間の確保
- 泉北ニュータウンの道路舗装の延命化及び舗装補修に要するコスト縮減

### ◆今後の予定

H28年度を初年度として、今後約20年で泉北ニュータウンの地区幹線道路（約80km）と生活道路（約120km）を対象に計画的に舗装更新を進める

※生活道路については、泉北ニュータウン内の生活道路（約190km）から道路舗装が概ね健全な区間を除いたものを想定。